

<1学期定期試験対策の基本>

『理解・定着』の第一歩は、各教科の重要語句の『定義（ことばの意味）』から

開倫塾

塾長 林明夫

1. (1) 「1学期定期試験対策」で大切なことは、
 - ①各教科の重要語句一つ一つについて、
 - ②「定義（ことばの意味）」を正確に「理解」した上で、
 - ③正確に「定着（身に着ける）」させることです。
 - (2)
 - ①「理解」するためには、
 - ②先生の授業をよく聞くこと、教科書や用語集、辞書をよく読むこと、
 - ③そして、その重要語句の意味・内容がどのようなことか、「うんなるほどと、よくわかる、納得するまで、自分の頭でよく考えること」が大切です。
 - (3) よく「理解」できたら、「定着（身に着ける）」させることが大切です。
2. 「定着（身に着ける）」させるためには、
 - (1)
 - ①「音読練習」、
 - ②つまり、「スラスラよく読めるようになるまで、声を出して繰り返し読む練習をすること」が効果的です。
 - ③できれば、何も見ないでスラスラ言える（暗唱できる）までにすることを目標にしましょう。
 - (2)
 - ①「書き取り練習」、
 - ②「楷書（教科書の書体）で、書き順も含め、正確に書けるようになるまで、書く練習をすること」が効果的です。
 - ③できれば、何も見ないで正確に書ける（暗記できる）までにすることを目標にしましょう。
 - (3)
 - ①よく「理解」できても、正確に「定着（身に着ける）」していなければ、「あやふや」なままです。テストでよい点数を取れないことがよくあります。
 - ②「音読練習」と
 - ③「書き取り練習」を繰り返し、しっかりと「定着」を図りましょう。
3. (1) 慶應義塾大学の元塾長で、テニス部の監督をしておられた、小泉信三先生の「スポーツによって得られる3つの宝」という教えが、私は大好きです。
 - (2) 「スポーツで得られる3つの宝」とは、
 - ①「練習は不可能を可能にする」
 - ②「フェアプレイ」
 - ③「よき友」
 - (3) よく「理解」した意味・内容を、「音読練習」と「書き取り練習」をして正確に「定着（身に着ける）」させることを目標にすることは、定期試験でよい点数（100点満点）を取ることに結びつきます。「不可能を可能にする」と考えます。
4. <もうひとつ> 「計算・問題」はどうするか。
 - (1) 教科書や問題集、プリントに出ている「計算・問題」は、なぜそのような正解・解答になるかを、先生の授業や教科書・参考書などで、「うんなるほどとよくわかる」ようになるまでしっかりと「理解」することが第一。
 - (2) よく「理解」できたら、「計算や問題を見た瞬間に『条件反射で正解が出る』ようになるまで、繰り返し『計算・問題練習』をすること。
 - (3) 開倫塾では、さきほどの「音読練習」と「書き取り練習」と、この「計算・問題練習」の3つの練習を「定着のための3大練習」と「定義」しています。「定着のための3大練習は、不可能を可能にする」と開倫塾では考え、「定期試験対策」として塾生の皆様におすすめしています。1学期定期試験対策の第一歩は、各教科の重要語句の「定義（ことばの意味）」の正確な「理解・定着」を目標としてください。
- よろしくお願いたします。